



サービス説明書

VMware vCloud[®] Air[™]

最終更新日 : 2015 年 9 月 8 日

© 2015 VMware, Inc. All rights reserved. 本製品は、米国および国際的な著作権法および知的財産法によって保護されています。本製品は、<http://www.vmware.com/download/patents.html> のリストに表示されている 1 件または複数の特許の対象です。

VMware は、米国および／またはその他の法域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。本書に記載される他のすべての商標および名称は、それぞれの企業の商標です。

本サービス説明書（以下「本サービス説明書」）に定める条件は、VMware vCloud Air（以下「本サービス提供」）に適用されます。「VMware」、「当社は」または「当社に」とは、お客様が米国で本サービス提供を購入する場合は、デラウェア州法人である VMware, Inc. を、お客様が日本で本サービス提供を購入する場合は、日本法に基づき設立され存続する会社である ヴィエムウェア ヴァイククラウド サービス 合同 会社 を、お客様がその他の国で本サービス提供を購入する場合は、アイルランド法に基づき設立され存続する会社である VMware International Limited を意味します。

サービス説明書の英語以外の翻訳版は便宜のために提供されており、本サービス説明書は英語版によって規制されます。

VMware, Inc.
3401 Hillview Ave.
Palo Alto, CA 94304
www.vmware.com

目次

1.	はじめに.....	5
1.1	サービスポータル	5
1.2	技術文書およびトレーニング.....	5
1.3	リーガル条件	5
1.4	サービスサポート	5
2.	VCLLOUD AIR IAAS サービス業務.....	6
2.1	サービスプロビジョニング.....	6
2.2	データリカバリ	7
2.3	監視	7
2.4	インシデントおよび問題管理.....	8
2.5	変更管理	9
2.6	セキュリティ	9
2.7	仮想サーバ展開テンプレート.....	10
2.8	ストレージ	10
2.9	ネットワーキングサービス.....	11
2.10	移行.....	12
2.11	HYBRID CLOUD MANAGER	13
2.12	オフラインデータ移行サービス (オプション)	13
2.13	VCLLOUD AIR vSPHERE CLIENT プラグイン (オプション)	14
2.14	データ保護 (オプション)	16
2.15	直接接続 (オプション)	15
2.16	ディザスタリカバリ (オプション)	16
2.17	Object Storage (オプション)	17
3.	VCLLOUD AIR SAAS サービス業務.....	18
3.1	VMWARE VCLLOUD® AIR™ SQL.....	18
3.1.1	サービス提供の概要.....	18
3.1.2	Microsoft データベース ソフトウェア ライセンス.....	19
3.1.3	前提条件.....	19
3.1.4	サービスオプション.....	19
3.1.5	サービスオブジェクト.....	20
3.1.6	サービスポータルおよびユーザー インターフェイス	21
3.1.7	サービスプロビジョニング	21
3.1.8	データリカバリ.....	22
3.1.9	監視.....	22

3.1.10	インシデントおよび問題管理.....	22
3.1.11	変更管理.....	22
3.1.12	セキュリティ.....	22
3.1.13	ストレージ.....	22
3.1.14	移行.....	22
3.1.15	注文.....	22
3.1.16	停止.....	22
3.1.17	解除.....	22
4.	事業活動	23
4.1	注文及び請求	23
4.2	メーター制の使用	24
4.3	更新	25
4.4	停止及び再使用可能性	27
4.5	契約解除	27
4.6	契約の中途解除（専用クラウド、仮想プライベートクラウド、ディザスタリカバリのみ）	27
付録 A	注文及びメーター制使用のコンポーネント	28

1. はじめに

VMware vCloud® Air™ は、VMware が運営する安全なクラウドサービス提供のグループであり、データセンターをシームレスにクラウドインフラストラクチャおよびソフトウェアデプロイメントに拡張するために VMware と互換性のあるプラットフォームを IT 組織に提供します。

1.1 サービスポータル

セルフサービスポータル

サービス提供には 2 つのセルフサービス コンソールが含まれます。

- **My VMware Account Management Console**（以下「My VMware™」）は、単一アカウントの下にあるすべての VMware 製品ライセンスおよびサポートのサブスクリプション ステータス、統合ナビゲーション、閲覧および管理へのアクセスを提供します。
- **VMware vCloud Air Console**（以下「コンソール」）は、仮想データセンター管理、ネットワークサービスの構成、仮想マシンインスタンスのライフサイクル管理などの VMware から購入したクラウドリソースのアクセス、消費および管理のための基本インターフェイスです。より高度な管理タスクについて、コンソールは、同一サインオンの下で vCloud Director への直接アクセスを提供します。

VMware はまた、VMware vCloud® Connector™ あるいは vCloud Air Hybrid Cloud Manager を通じたプログラムリソース管理またはワークロード移行のための vCloud® Application Programming Interface（API）アクセスを組織管理者に提供します。

1.2 技術文書およびトレーニング

使用例と共にキーコンセプトを概説した文書およびビデオから構成されるキーオブジェクトのための「入門」ガイドおよび「操作手順」ガイドが、コンソール、VMware ラーニング、サービスおよびその他のウェブサイトを通じて入手できます。

1.3 リーガル条件

vCloud Air サービス提供の使用は、<http://vcloud.vmware.com/legal> に記載されている使用条件が適用されます。

1.4 サービスサポート

VMware は、お客様が報告した問題に関するサポートや、採用を支援し vCloud Air サービス提供に関連したいくつかの追加サービスを提供します。サポートは VMware またはその代理人が施設を維持する国で提供が可能です。お客様がサポートに関連してお客様のコンテンツ（使用条件に定義される）を提供する場合、当社は、適用される使用条件に従って当該国でお客様のコンテンツを取り扱います。

2. vCloud Air IaaS サービス業務

サービスオプション

VMware が運営および管理する IaaS（サービスとしてのインフラストラクチャ）の提供である vCloud Air には、4 つのサービスクラスを選択肢があります。

- **専用クラウド** サービスクラスは、シングルテナントプライベートクラウドに、専用コンピューティングサーバ、ワークロード トラフィックのためのレイヤー2 ネットワーク分離、専用ストレージ容量、専用クラウド管理インスタンスを提供します。インフラストラクチャの容量は、お客様の選択により単一仮想データセンターまたは複数データセンターに割り当てることができます。
- **仮想プライベートクラウド** サービスクラスは、マルチテナント仮想プライベートクラウドに、ネットワーク リソースを持つ単一仮想データセンターとして 構成された、共有物理インフラストラクチャ上で論理的に分離されたリソースを提供します。
- **ディザスタ リカバリ** サービスクラスは、リモート仮想マシンのレプリケーション、フェイルオーバー、リカバリのためのディザスタ リカバリ仮想データセンター（ディザスタ リカバリ-VDC）として構成された、予約マルチテナント仮想プライベートクラウドです。仮想プライベートクラウドと同様に、このサービスクラスは、共有物理インフラストラクチャ上で論理的に分離されたリソースを活用します。
- **仮想プライベートクラウドオンデマンド** サービスクラスは、マルチテナント仮想プライベートクラウドに、お客様の選択により単一仮想データセンターまたは複数仮想データセンターに割り当てられた、共有物理インフラストラクチャ上で論理的に分離されたリソースを提供します。

サービスオブジェクト

各サービスクラスは、これらのオブジェクトにアクセスし、様々な消費および管理モデルに合わせてこれらを管理する能力を含みます。

- **仮想データセンター（VDC）** すべてのサービスクラス向けで、内部 VDC ネットワークおよびオプションの NAT 経由ネットワークのエッジゲートウェイにより設定されます。
- **仮想マシン（VM）** は、vCloud Air 相互作用のファーストクラス オブジェクトであり、個別に構築し管理することができます。VMware vSphere® vApp™ は、vCloud Air Console の仮想マシンと関連付けて見ることができますが、VMware® vCloud Director®のみを通じて構築または管理することができます。
- **ネットワーク**は、エッジゲートウェイ構成および NAT マッピング、ファイアウォール ルール、ネットワーク割り当てのための仮想マシンなどの一般的な使用事例のために vCloud Air Console を通じて管理することができます。VPN 設定、ロードバランシング、ネットワーク構築などの詳細設定構成および管理は、vCloud Director を通じて行うことができます。

以下では、vCloud Air IaaS サービス提供を供する際の VMware の役割および責任を概説しています。特定の役割および責任はまた、お客様が負うものとして識別されていますが、本書に記載されていない役割または責任は、サービス提供に関して履行されず、またはお客様が責任を負うことはありません。

2.1 サービスプロビジョニング

VMware は、以下のプロビジョニングサービスを提供します。

- 適用される場合、契約したリソースプールをサポートするために必要とされるプラットフォーム コンポーネントの実装（物理サーバ、物理ストレージ、物理ネットワーク デバイス）
- 適用される場合、デフォルトのパブリック IP アドレスなどの初期ネットワーク リソースの提供
- 適用される場合、初期リソースプール（メモリ、プロセッシング、プライマリ ストレージ、ネットワーク）の提供
- デフォルトの管理者特権およびシステム環境設定を使用したコンソールでの初期管理ユーザー アカウントの作成

お客様は、以下のプロビジョニングサービスについて責任を負います。

- vCloud Air Console でのユーザー アカウントの作成および必要に応じたデフォルトのシステム環境設定の変更
- 展開テンプレートおよびウィザードを使用した該当する仮想データセンター、vApp、VM、ネットワークの構築および構成
- 展開された仮想マシンへのカスタムまたはサードパーティー アプリケーションおよびオペレーティング システムのインストールおよび構成
- ディザスタリカバリと併用するための vSphere® Replication™ のオンプレミス展開の展開および保守（vSphere Replication のインストール、vCloud Air へのお客様の現地の vSphere 環境の登録、保護のための仮想マシンの選択、レプリケーション周期に関する目標復旧ポイント（RPO）の割り当てなど）

2.2 データ リカバリ

VMware は、データ リカバリに関して以下のサービスを提供します。

- vCloud Air インフラストラクチャのための日常的バックアップなどのデータ保護（VMware が所有および運営するトップレイヤー管理およびユーザー管理インターフェイスなど）
- vCloud Air インフラストラクチャのためのデータおよびインフラストラクチャ復元（VMware が所有および運営するトップレイヤー管理およびユーザー管理インターフェイスなど）

お客様は、データ リカバリに関して以下のサービスについて責任を負います。

- vCloud Air 仮想マシンまたはストレージ デバイスにアクセスまたは保存されたデータおよびコンテンツのための日常的なバックアップなどのデータ保護、構成設定等
- お客様の vCloud Air アカウントにアクセスまたは保存された資産に関するデータ、コンテンツ、仮想マシン、構成の復元

2.3 監視

VMware は、監視に関して以下のサービスを提供します。

- vCloud Air インフラストラクチャ、インフラストラクチャ ネットワーク、トップレイヤー管理およびユーザー管理インターフェイス、コンピュータ処理、ストレージ、ネットワークハードウェアの可用性、容量およびパフォーマンスの監視。VMware はまた、コンピュータおよびストレージ リソースの利用および可用性についての仮想データセンターおよび仮想マシン レベルの見解をお客様に提供します。

お客様は、監視に関して以下のサービスについて責任を負います。

- お客様の vCloud Air アカウント内で展開または管理されている資産の監視（仮想マシン、オペレーティング システム、アプリケーション、特定のネットワーク構成、オペレーティング システムまたはアプリケーションの脆弱性等）

2.4 インシデントおよび問題管理

VMware は、以下に関するインシデントおよび問題管理サービス（例えば、検知、重要度分類、記録、上申、サービス再開など）を提供します。

- vCloud Air サーバ、ストレージ、ネットワークデバイスなど、VMware が直接、管理的および/または物理的なアクセスおよび制御を有するインフラストラクチャ
- VMware がサービス提供の際に使用する vCloud Air Console、vCloud Director アプリケーションおよびその他のアプリケーションなど、VMware が直接、管理的なアクセスおよび制御を有するサービス ソフトウェア
- 以下の場合の VMware が提供したオペレーティング システム テンプレート
 - 公表されたテンプレートがサービス カタログからアクセスできない
 - 公表されたテンプレートが変更なしにインスタント化できない
 - 公表されたテンプレートが最初の起動時にエラーを起こす
 - サービスカタログからのテンプレート検索の際に大幅な停止または過剰な遅延が生じる
 - 公表されたテンプレートの構成が仮想マシンとハイパーバイザの相互運用に影響を与える
 - 時刻同期問題（NTP）がある
- 以下などの VMware が提供したツール
 - VMware ツールのインストールおよび構成
 - VMware ツール最適化
 - VMware ツールおよびドライバに関するパフォーマンス チューニング

お客様は、以下に関するインシデントおよび問題管理（例えば、検知、重要度分類、記録、上申、サービス再開など）について責任を負います。

- お客様の組織、仮想データセンター、vApp または組織のネットワーク管理、構成および変更
- 仮想マシン、カスタム開発またはサードパーティー アプリケーション、カスタムまたはユーザー展開オペレーティング システム、ネットワーク構成設定およびユーザー アカウントなど、ユーザーが展開および構成した資産
- オペレーティング システム自体またはそれに含まれる機能もしくはコンポーネントなどのオペレーティング システム管理
- ユーザー展開仮想マシン、カスタムもしくはサードパーティー アプリケーション、お客様のデータベース、お客様がインポートもしくはカスタマイズしたオペレーティング システム、または vCloud Air Console、vCloud Director もしくは vCloud Air プラットフォームとは無関係のお客様が展開および管理するその他の資産のパフォーマンス

2.5 変更管理

VMware は、以下の変更管理要素を提供します。

- vCloud Air、コンソール、vCloud Director または vCloud Air プラットフォームの健全性および可用性を維持するための手続きおよび手順
- vCloud Air Console、vCloud Director または vCloud Air プラットフォームに関連する新コードバージョン、ホットフィックスおよびサービスパックをリリースする手続きおよび手順

お客様は以下について責任を負います。

- お客様の仮想マシン、オペレーティング システム、カスタムまたはサードパーティー アプリケーション、データベースの変更の管理およびお客様の制御の範囲内の一般ネットワーク変更の管理
- お客様に付与される最高の許可水準までの VMware および vCloud Air ユーザー コンソールを通じて提供されるセルフサービス機能の管理。仮想マシンおよびネットワーク機能、バックアップ管理、ユーザー構成および役割管理、一般アカウント管理等を含みますがそれらに限定されるものではありません。

2.6 セキュリティ

vCloud Air のエンド ツー エンド セキュリティは、VMware とお客様との間で共有されます。VMware は、単独の物理的、論理的および管理レベルの制御を有する側面のサービス提供に対するセキュリティを提供します。お客様は、管理レベルのアクセスまたは制御を有する側面のサービス提供について責任を負います。VMware とお客様との間の責任の主な領域は以下に概説しています。

VMware は以下を提供するために商業上合理的な努力をします。

- **物理セキュリティ:** VMware は、物理セキュリティ侵害から vCloud Air IaaS を収容しているデータセンターを保護します。
- **情報セキュリティ:** VMware は、単独の管理レベルの制御を有する vCloud Air IaaS を提供するために使用される情報システムを保護します。
- **ネットワークセキュリティ:** VMware は、お客様がネットワークを変更するために制御、許可またはアクセスを有する時点まで情報システムを含んだネットワークを保護します。
- **セキュリティ監視:** VMware は、単独の管理レベルの制御を有する vCloud Air IaaS を提供する際に使用される基盤インフラストラクチャ サーバ、ストレージ、ネットワーク、情報システムに関わるセキュリティイベントを監視します。この責任は、お客様が本サービス提供の側面を変更するために制御、許可またはアクセスを有した時点で停止します。
- **パッチングおよび脆弱性管理:** VMware は、対象システムにとって重大とみなされるパッチの適用など、本サービス提供を行うために使用するシステムを維持します。VMware は、本サービス提供を行うために使用するシステムの重大なリスク領域を浮上させるために日常的な脆弱性検査を実施します。重大な脆弱性は適時に対処されます。

お客様は以下に対応しなければなりません。

- **情報セキュリティ:** お客様は、vCloud Air IaaS 上で展開および/またはアクセスする情報システム、データ、コンテンツまたはアプリケーションの十分な保護を確保することに責任を負います。これは、あらゆるレベルのパッチング、セキュリティ フィックス、データ暗号化、アクセ

ス制御、お客様の内部、外部またはサードパーティー ユーザー等に付与された役割および許可等を含みます。

- **ネットワークセキュリティ:** お客様は、管理レベルの制御を有するネットワークのセキュリティについて責任を負います。これは、有効なファイアウォール ルールの維持、事業を営むためのみに必要な通信ポートの開放、無差別アクセスのロックダウン等を含みます。
- **セキュリティ監視:** お客様は、脆弱性検査ツールを通じて浮上した、またはお客様が参加するように求められる、別の VMware セキュリティ プログラムの下でサービスが提供されないコンプライアンスもしくは認証プログラムのために要求される仮想マシン、オペレーティングシステム、アプリケーション、データまたはコンテンツに関連する、お客様の vCloud Air アカウントにより分離されたすべてのセキュリティ イベントの検知、分類、修復について責任を負います。

2.7 仮想サーバ展開テンプレート

VMware は、お客様が専用クラウド、仮想プライベート クラウド、および仮想プライベート クラウド オンデマンドサービスクラス向けにお客様の vCloud Air IaaS 環境で展開することができる、サポート対象である仮想サーバ展開テンプレートのカタログを提供します。このテンプレートの展開および使用は、<http://vcloud.vmware.com/legal> に所在するサードパーティー条件に従い、本サービス説明書付録 A に詳しく記載される追加のソフトウェア サブスクリプション料金が課されます。VMware は、これらのテンプレートを提供し、品質をテストし、ウィルスをチェックし、セキュリティ パッチをインストールし、その後 VMware テンプレート カタログに掲載します。VMware はまた、これらのテンプレートを随時、保守し、更新します。お客様は、お客様が使用することを選択した仮想サーバ展開テンプレートの展開および構成、関連ライセンスの有効化ならびに当該ライセンス条件の遵守について責任を負います。

サードパーティー ライセンサーに対する VMware の法的義務を遵守するために、お客様による、<http://vcloud.vmware.com/legal> に所在するサードパーティー条件に定める本サービス提供以外のインストールまたは使用のために特定のテンプレートまたはインストールされた形式の特定のテンプレートのエクスポート、ダウンロードまたは削除は認められません。

お客様は、自身の仮想サーバ展開テンプレートに含まれるソフトウェアを展開および使用する法的権利を有する限り、当該テンプレートを実装またはインポートすることができます。

VMware が提供した、頻繁に使用される、旧式のまたはもはやサポートされていないテンプレートはいつでも削除することができます。

本サービスに基づき提供される仮想データセンターが vCloud Air 以外からの仮想マシンの複製のみに限られるため、仮想サーバテンプレートがディザスタリカバリ サービスクラスで利用できないことに留意してください。お客様は、レプリケーションによりインポートされた仮想マシン（これらの仮想マシンに関連するサードパーティーソフトウェアを含む）が適用される製品利用権およびライセンス契約を遵守するよう保証することに責任を負います。

2.8 ストレージ

vCloud Air IaaS は、基本サブスクリプションの一部として永続ブロック ストレージを含みます。専用クラウド、仮想プライベート クラウド、または仮想プライベート クラウド オンデマンドインスタンスに関して利用可能な 2 つのストレージ オプションがあります：ストレージの両方の層はコア SKU およびアドオンの一部として購入することができます。すなわち、標準ストレージおよび SSD アクセラレーテッドストレージです。ディザスタリカバリ サブスクリプションは、この 2 つのストレージ オプションを備えていません。2 つのストレージ オプションは、(1) ダウンタイムなしの仮想マシンディスク (VMDK) の増加、および (2) 必要に応じてある層から他の層に移行する柔軟性を可能にします。お客

様はまた、必要に応じてワークロードごとにストレージの種類を混合または調和することができます。

お客様の vCloud Air IaaS クラウド インスタンスに関して階層ストレージ アプローチを採用して、お客様は、パフォーマンス要件に従ってお客様の環境でワークロードを分割することができます。例えば、お客様は、高めのパフォーマンスを要するワークロードに関して SSD アクセラレーテッド ストレージを選択することができ、または低めのパフォーマンスを要する仮想マシン（スワップファイルなど）に関して標準ストレージを選択することができます。お客様はまた、ワークロード要件に最適となるようにストレージの種類をダイナミックに混合することができます。専用クラウドの基本サブスクリプションは、6TB の標準ストレージまたは SSD アクセラレーテッド ストレージを含み、仮想プライベートクラウドの基本サブスクリプションは、2TB の標準ストレージまたは SSD アクセラレーテッド ストレージを含みません。購入時に、お客様は、どの種類のストレージを vCloud Air 上の IaaS インスタンスに関して含めるべきかを指定することができます。購入時の後、お客様は、My VMware ポータルを介してまたは発注書を提出することにより、同じストレージ オプションまたは他のオプションを購入することができます。すべてのコアコンポーネント サブスクリプションは、本サービス説明書付録 A に詳しく記載されるサービス料金が課されます。仮想プライベートクラウド オンデマンドによって、お客様は VM 作成時にストレージ層をダイナミックに各ディスクベースに選ぶことができ、VM 作成後どの時点でもストレージ層を変更することができます。

2.9 ネットワーキングサービス

vCloud Air IaaS は、コアな専用クラウドサブスクリプションとして以下のネットワークサービスを含みます：

- **Network Address Translation (NAT):** IP アドレスのソースとデスティネーションの個別コントロール、ポートトランスレーションを含みます。
- **Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP):** IP プールのコンフィグレーション、ゲートウェイ、DNS サーバとサーチドメイン。
- **ファイアーウォール:** すべてのプロトコールのため把握できる検査のための IP とポートレンジによる IP 5-tuple コンフィグレーションを含むサポートされたルール。
- **ロードバランシング:** シンプルでダイナミックな設定可能なバーチャル IP アドレスとサーバグループ。
- **Site-to-Site Virtual Private Network (VPN):** 標準化されたすべての主要 VPN ベンダーを相互運用する IPsec プロトコールセッティングを使用。
- **SSL VPN-Plus:** SSL VPN-Plus はリモートユーザが NSX エッジゲートウェイの背後にあるプライベートネットワークに安全に接続することを可能にする。
- **Static Routing:** デスティネーション static routes はサブネットあるいはホストする。
- **Dynamic Routing:** サポートされたプロトコールは、OSPF BGP を含む。この機能はお客様がダイレクトコネク ト オファリングをサブスクリプションすると利用可能となる。
- **High Availability:** High availability は、主要な Edge バーチャルマシンが利用不可能であればネットワークにおけるアクティブな Edge を確保する。
- **Syslog Export:** リモートサーバへのすべてのサービスの syslog export をサポートする。

お客様は、オプションのアドオン追加、Advanced Networking Standard あるいは Advanced Networking Premium を My VMware portal からサブスクリプションできます。アドオン両方に対して、お客様は以下の能力を有します：

- **Distributed Firewall:** Distributed Firewall はハイパーバイザーカーネルが埋め込まれたファイアーウォールで vCloud Air ワークロードとネットワークの可視性とコントロールを提供します。物理サーバのより高い作業負荷統合を可能にするラインレートスループットに近づけます。
- **Enhanced Load Balancing:** アプリケーションレベルロードバランサー。

- ネットワーキングスタンダードはお客様に以下を提供します:
 - ハイキャパシティ Site-to-Site Virtual Private Network (VPN): エッジゲートウェイにつき 512 接続。
 - ハイキャパシティ SSL VPN-Plus: エッジゲートウェイにつき 50 ユーザ。
- アドバンスネットワーキングスタンダードはお客様に以下を提供します:
 - ハイキャパシティ Site-to-Site Virtual Private Network (VPN): エッジゲートウェイにつき 1600 接続。
 - ハイキャパシティ SSL VPN-Plus: エッジゲートウェイにつき 100 ユーザ。

2.10 移行

vCloud Connector は、vCloud Air IaaS と、データセンターまたは vCloud Air 評価環境などの他の vSphere または vCloud Director 環境との間の VM、vApp およびテンプレートの移行は vCloud Connector あるいは vCloud Air Hybrid Cloud Manager によって行うことができます。エクスポート、移送およびインポートは、vCloud Connector またはオープン仮想マシン フォーマット (OVF) を使用することができ、オプションのオフラインデータ移行サービスも vCloud Air IaaS への移行に利用可能です。これらの移行能力は、vCloud Air IaaS への組み込み、サービス提供からのエクスポート、vCloud Air IaaS とお客様のオンプレミス データセンターとの間のテンプレートの同期をサポートします。

vCloud Connector は、vCloud Air IaaS と、データセンターまたは vCloud Air 評価環境などの他の vSphere または vCloud Director 環境との間の VM、vApp およびテンプレートの移行をサポートします。vSphere、vCloud Director、vCloud SP、vCloud Air IaaS 間の VM、vApp およびテンプレートの基本的なネットワーク ベースのコピー作業に加えて、vCloud Connector も、以下の使用事例をサポートします。

- お客様のプライベート vSphere および vCloud Director 環境から単一のレイヤー2 ネットワークを vCloud Air に拡張し、同じ IP および MAC アドレスを保持しながら、お客様が VM または vApp を vCloud Air に移行できるようにします。これにより、プライベート vSphere または vCloud Director 環境でこれらの VM または vApp が他の VM または vApp と通信できます。
- お客様の vCloud Air カタログとプライベート vSphere フォルダまたは vCloud Director カタログを同期し、お客様のプライベート vSphere または vCloud Director および vCloud Air のすべての認証ユーザーが同じテンプレートを使用できるようにします。

2.11 Hybrid Cloud Manager (オプション)

専用クラウドサブスクリプション vCloud Air Hybrid Cloud Manager をお持ちのお客様は、vSphere Web Client を通じてシームレスなハイブリッドクラウドエクスペリエンスが可能です。Hybrid Cloud Manager は、ユーザーのオンプレミスデータセンターを vCloud Air に拡張するためのシームレスなオプションを提供します。Hybrid Cloud Manager は、ハイブリッドネットワーキングと双方向容量統合能力、オンプレミスと vCloud Air の統合を単純化したワークロード移行を提供します。

vSphere Web Client の中から Hybrid Cloud Manager を使用して、お客様は以下を行うことができます:

- vCloud Air に関する専用クラウドインスタンスの閲覧および管理
- 各クラウド インスタンスの閲覧、作成、変更し、仮想データセンター、ゲートウェイ、ネットワークのインベントリの管理
- カタログテンプレートを使用した仮想マシンの展開、既存の VM の変更
- オンプレミスからのバーチャルマシンを vCloud Air に移行

ハイブリッドネットワーキング (オプション) ハイブリッドネットワーキングは、vCloud Air Hybrid Cloud Manager の中から高度な強化された統合とネットワーク延長能力をオプションの追加サービスを提供します。

ハイブリッドネットワーキングによって、お客様は以下の能力を有します：

- オンプレミスデータと vCloud Air の統合における低いダウンタイム
- 改良された能力のための加速された統合
- L2VPN ベースの追加機能を使用したネットワーク追加、これによりユーザーはお客様の vSphere 環境から複数の L2 セグメントを一つの tunnel に拡張し、お客様は VM あるいは vApps を vCloud Air に統合し、一方 IP と MAC アドレスは維持されます。

お客様は、アドオンハイブリッドネットワーキングスタンダードあるいはアドオンハイブリッドネットワーキングプレミアムを My VMware ポータル経由でサブスクライブできます。

- ハイブリッドネットワーキングスタンダードは、お客様に1つの 100 Mbps 接続を提供します。
- ハイブリッドネットワーキングプレミアムは、お客様に3つの 1 Gbps 接続を提供します。

2.12 オフラインデータ移行サービス (オプション)

オフラインデータ移行 (以下「ODT」) は、お客様の現地のプライベート vSphere または vCloud Director 環境から vCloud Air IaaS 環境への多数の VM、vApp またはテンプレートの移行を目的とするオプションのデータ移行サービスです。ODT は My VMware ポータルを通じて調達することができ、お客様はサービスを起動するために vCloud Connector を使用します。

本サービスの一環として、VMware は以下を行います。

- 物理ストレージ デバイスをお客様に発送し、お客様が VM、vApp またはテンプレートをそのデバイスにロードし、選好する運送業者を使用してそれを VMware に返送することを認めます。お客様がデバイスにロードしたコンテンツは、vCloud Connector により暗号化されます。解読キーは、vCloud Air 環境の vCloud Connector インフラストラクチャで保管され、これにより、移行中のお客様のコンテンツのセキュリティを確保します。
- デバイスからお客様の本サービス提供インスタンスへのデータの移行。

お客様は、以下について責任を負います。

- VMware が提供するストレージ デバイスに付随する指示文書に従うこと。
- VMware の発送日から 45 暦日以内にストレージ デバイスを VMware に返送すること。ストレージ デバイスが 45 日以内に返送されなかった場合、お客様は、ストレージ デバイスの交換料金に加えて、各々が VMware により課される発送諸経費を VMware に支払います。
- サービスにより伝送されたデータ、アプリケーションまたは仮想マシンのバックアップ。VMware は、お客様の本サービスの利用の結果として発生するデータ損失については責任を負いません。

このオプションのサービスは、本サービス説明書付録 A に詳しく記載される追加料金が課されます。

2.13 vCloud Air vSphere Client プラグイン (オプション)

vCloud Air vSphere Client プラグインは、なじみのある vSphere Web Client User Interface を vCloud Air

IaaSに拡張します。vSphere Client 内からの vCloud Air プラグインにより、お客様は以下を行うことができます：

- vCloud Air に関する専用クラウドおよび仮想プライベートクラウドインスタンスの閲覧および管理
- 各クラウド インスタンスの閲覧、作成、変更し、仮想データセンター、ゲートウェイ、ネットワークのインベントリの管理
- カタログテンプレートを使用した仮想マシンの展開、既存の VM の変更
- vCloud Air コンソールを介してお客様のアカウントに対して行われた変更に関する自動更新の受信

2.14 データ保護（オプション）

データ保護は、安全な画像ベースのバックアップおよびリカバリ能力を提供するオプションのサービスであり、お客様は、お客様の vCloud Air IaaS 環境で提供される重要な仮想マシン データおよびコンテンツを保護することができます。vCloud Air Console で利用可能なデータ保護管理インターフェイスを通じて、vApp およびその仮想マシン メンバーを方針ベースのバックアップおよびリカバリ作業のために選択することができます。

データ保護機能のサブスクリプションおよび有効化は、My VMware™ を介して要請することができ、バックアップデータ容量に基づき追加サービス料金が課されます。サービスのバックアップ データ容量は、フロントエンド テラバイト（FETB）で測定され、本サービス説明書付録 A に詳しく記載されています。有効化された場合、vApp およびその仮想マシン メンバーは、vCloud Air Console を通じてセルフサービスに基づきデータ保護機能に登録または登録解除することができます。

本サービスの一環として、VMware は以下を行います。

- データ保護機能をサポートするために必要とされるセントラル サービス コンポーネントの実装および保守（バックアップ ソフトウェア アプライアンス、バックアップおよびアーカイバル記憶媒体および関連ネットワーク トポロジ）。
- データ保護環境のための業界ベストプラクティスに適合した日常的な構成、保守および最適化サービスの実施。
- サブスクリプション契約時に行われた容量選択に基づく必要なバックアップ ストレージの割り当て。
- すべてのバックアップ データについての地理的地域ごとのストレージの局所性の保証。
- 要請される必要なデータ保護サービス報告の提供。

お客様は、以下について責任を負います。

- My VMware™ を介してアドオン機能としてのデータ保護の購入およびお客様の要件に見合ったバックアップ ストレージ容量の選択。
- カスタム バックアップ保護方針の作成（VDC ごとのアフィニティ設定、スケジューリング、保存期間などを含む）。
- データ保護を使用した予定バックアップのための vApp およびその仮想マシン メンバーの登録および登録解除。
- vApp およびその仮想マシン メンバーごとのオンデマンド バックアップの実施。
- vApp および／または個別仮想マシンごとの適当または不適当な復元の実施。
- 探求中のリカバリタスクの管理（オペレーティングシステム、ファイルシステムおよび／また

はアプリケーション レベルでの復元作業など)。

- バックアップストレージ容量および消費量の管理 (アクティビティレポート、My VMware™ を介した追加ストレージ容量の注文、空き容量を確保するためのインベントリのバックアップデータの削除などを含む)。

2.15 直接接続 (オプション)

直接接続は、リモート顧客データセンターおよび vCloud Air IaaS と同じ施設のデータセンターを vCloud Air IaaS 環境の顧客インスタンスに接続するのを援助するオプションの専用ネットワークリンクです。直接接続は、お客様が、ネットワークサービスプロバイダーが提供する高生産性で低遅延の接続を活用することを可能にします。専用接続回路は、vCloud Air 直接接続サービス (VMware が提供する) ならびに顧客サイトから vCloud Air データセンターへのネットワーク接続およびサービス (お客様の選択したネットワークサービスプロバイダーは関連する vCloud Air データセンターの接続ポイントを持たなければなりません) で構成されます。

直接接続に加入するために、お客様は、My VMware ポータルを介してまたは発注書を公認直接接続パートナーに提出することにより、お客様の既存の vCloud Air IaaS インスタンスのために 10 Gbps または 1 Gbps のポートスピード接続を購入することができます。VMware に対するお客様の直接接続サブスクリプションはお客様の選択したネットワークサービスプロバイダーの vCloud Air データセンターにおけるお客様の vCloud Air インスタンスの接続ポイントへのポート接続サービスのみを含みます。お客様のネットワークサービスプロバイダーによって課される別個のネットワーク接続料金があり、お客様はこれに責任を負担します。

ネットワークサービスプロバイダーは、お客様にネットワーク サービスを提供し、別個の料金、サービス条件を別途の契約条件によって課します。これらの別個の料金および条件については、お客様と VMware の関係から分離され、直接お客様が選択したネットワークサービスプロバイダーと直接対応しなければなりません。

本サービスの一環として、VMware は以下を行います。

- お客様が契約した回路または接続を連結することができる vCloud Air IaaS への 10 Gbps または 1 Gbps の接続の提供。
- 接続の vCloud Air 側のプロビジョニング、管理およびサポート。
- 適用する vCloud Air データセンターにおけるネットワークサービスプロバイダーの接続ポイントへの vCloud Air IaaS の通信アクセスポイントへの回路プロビジョニングおよび接続の成功を確保するためにお客様が選択したネットワークサービスプロバイダーとの協調。

お客様は、以下について責任を負います。

- すべてのプライベート ネットワーク サービス接続のためのネットワークサービスプロバイダーとの契約締結。
- ネットワークサービスプロバイダーのすべての適用される条件の遵守。
- プロビジョニング完了に要求される vCloud Air Support へのすべての適用されるネットワーク サービス プロバイダ回路情報の提供。

VMware は、接続のネットワークサービスプロバイダー 側に発生したネットワーク接続停止については責任を負いません。VMware のグローバルプライバシーアデンダムは VMware によってコントロールされた vCloud Air インフラストラクチャにおいてプロセスされたデータに適用しますが、お客様が選択したネットワークサービスプロバイダーによって提供されるネットワークコネクションとサービスには適

用されません。

2.16 ディザスタ リカバリ (オプション)

ディザスタ リカバリは、オプションの1つとしてプライベート vSphere 環境でホストである自社業務用の VM を保護するサービス型リカバリ (RaaS) ソリューションです。ディザスタ リカバリは、それらの作業負荷を vCloud Air に複製し、ディザスタまたは破壊的な出来事が起きた場合にクラウド内で自力でのフェイルオーバーを稼働させ、リカバリを可能にします。

ディザスタ リカバリ サービスは自社業務用のソフトウェア コンポーネント及びクラウド予備能力コンポーネント双方で構成され、自社業務用ソフトウェア コンポーネントは、vSphere レプリケーションであり、クラウド予備能力コンポーネントはディザスタ リカバリ-VDC インスタンスです。

vSphere レプリケーションは、VMware 占有のレプリケーション エンジンでハイパーバイザ レベルで動作し、個別の仮想マシン及びその関連の仮想マシン ディスク (VMDK) の保護を可能とします。お客様が vSphere レプリケーションをご使用になる場合、vSphere レプリケーションのエンド ユーザー ライセンス契約の条件を遵守していただきます。

ディザスタ リカバリ-VDC インスタンスは、vCloud Air の仮想化されたリカバリ目標で、帯域幅、コンピュータ処理、ネットワーク及びストレージのすべてリソースが予め構成されて混合され、それらは、ディザスタ リカバリ サービス提供で専ら利用するテスト、フェイルオーバー及びリカバリ操作のために確保されます。このリソースの確保は、サービス利用について下記の制限を受けます。

- 連続 7 暦日を超えるテスト フェイルオーバーのリース ランタイムには、1 日当たりの使用料金 (DUF) が発生します。
- 連続 30 暦日を超えるライブ フェイルオーバー及びリカバリのリース ランタイムには、1 日当たりの使用料金 (DUF) が発生します。

本サービス提供の一部として、お客様は回数の制限なくテスト フェイルオーバー訓練を実施できます。ディザスタ リカバリ サービス提供は、専用クラウド及び仮想プライベート クラウドに利用できる類似の加入申込みの登録方法を用いてコア コンポーネントとして注文できます。ディザスタ リカバリ独自の追加のサービス業務は、最初の購入時に追加すること、および My VMware™ を介して加入期間中のいつでも追加することが可能です。ディザスタ リカバリの サービス提供申込みのコンポーネントは、追加サービス料金の対象とされ、本サービス説明書の付録 A に説明されています。

本サービス提供の一部として、VMware は、以下のことを行います。

- 加入申込時に選択した容量及びディザスタが宣言されるまで、買い求めた追加容量に基づいてテスト、フェイルオーバー及びリカバリ操作の予備力に安全なリモートアクセスを提供すること。
- ディザスタ リカバリ サービス環境のために、業界最高レベルの慣行に従いルーチン構成、維持管理及び最適化サービスを実施すること。
- ディザスタ リカバリ サービスの求めにより vSphere レプリケーションの機器ソフトウェアのバージョン管理。
- テストまたはフェイルオーバーのサービス要求を呼び出すお客様に応じて複製仮想 マシンの適時のリカバリを徹底すること。

お客様は、以下について責任を負います。

- ディザスタ リカバリのコア加入に申込み、お客様の要望に合った予備力量を決めること。
- ディザスタ リカバリ サービスの機能を支える必要に応じてお客様の業務用の vSphere 環境内に vSphere レプリケーションの機器ソフトウェアを配置すること。
- お客様のローカル vSphere 環境をお客様指定の vCloud Air のディザスタ リカバリ-VDC インス

タンスに登録すること。

- 適切なネットワーク接続性の種類及び帯域幅をお客様の業務環境と vCloud Air との間で確実に得られるようにし、お客様のレプリケーション要望に応えられるようにすること。
- ディザスタ リカバリ サービス時に保護のため仮想マシンを構成し、仮想マシンごとにそれぞれの目標リカバリ ポイントを確定すること。
- ディザスタ リカバリ サービスの一環としてテスト、フェイルオーバー、リカバリ及びフェールバック操作を可能とするため、カスタム ランブック手順を開発すること。
- ディザスタ リカバリの範囲を超えたりカバリ タスク及び主要サービスの境界として仮想 マシンのリカバリを実装し、実行すること。
- 可変フェイルオーバー負荷を処理できるよう、お客様のディザスタ リカバリ-VDC インスタンスに、十分な予備キャパシティを確保すること。

2.17 Object Storage (オプション)

VMware vCloud Air Object Storage は、スケーラブルで、対費用効果が高く、伸縮性のある非構造化データのためのクラウドベース ストレージ ソリューションを提供するオプションサービスです。本サービスは、お客様がストレージ容量への迅速かつセルフサービス アクセスをオンデマンドで手に入れ、ペタバイトヘスケールアップすることを可能にします。

vCloud Air Object Storage ポートフォリオに現在は 1 つのサービスがあります：

- VMware vCloud Air Object Storage powered by Google Cloud Platform: 本サービスでは、ストレージに関してユーザーは 3 つのオプションがあります：
 - Standard ストレージ – 高レベルな性能、使用可能性、耐久性を必要とするワークロード用
 - Durable Reduced Availability ストレージ – 低めのレベルの性能と使用可能性で実行可能だが高い耐久性を必要とするワークロード用
 - Nearline ストレージ – 上記二つの提供内容に比べて低めのレベルの性能と使用可能性を必要とするアクセス頻度の低いデータの長期ストレージ用

Object Storage powered by Google Cloud Platform は、Google Cloud Storage により実行される vCloud Air OnDemand サービスです。このサービスは、vCloud Air OnDemand プラットフォームの請求とメーター制、ならびに識別とアクセス管理コンポーネントを活用しています。このサービスは VMware vCloud Air サービス条件において利用可能であり、VMware の Global Shared Services チームによって全面的にサポートされており、お客様は既存の ELA や契約を通してこれらのサービスにアクセスすることができます。

VMware vCloud Air オブジェクトストレージ機能のサブスクリプションおよび有効化は、My VMware™ を介して要請することができ、ストレージの容量、ネットワーク イグレスとトランザクションに基づき追加サービス料金が課されます。ストレージの容量、ネットワーク イグレスとトランザクションについては本サービス説明書の付録 A に詳しく説明されています。有効化された場合、vApp およびその仮想マシンメンバーは、vCloud Air Console を通じてセルフサービスに基づきオブジェクトストレージ機能に登録または登録解除することができます。

本サービスの一環として、VMware は以下を行います：

- オブジェクトストレージ機能をサポートするために必要とされるすべてのセントラル サービス コンポーネント（請求、メーター制、識別とアクセス管理等）の実装および保守。
- Google にホストされたオブジェクトストレージ プラットフォームにアクセスすることの許可。

- vCloud Air でホストされたオブジェクト ストレージ サービス コンポーネントのための日常的な構成、保守および最適化サービスの実施。VMware は Google と連携し、そのプラットフォームによってホストされたサービスについてのこれらのサービスを実施します。これらの作業はすべて業界ベストプラクティスに適合して実施されます。
- 適切なストレージのタイプに関するお客様からの要求に基づく必要なオブジェクト ストレージ容量の割当て。
- すべてのオブジェクト ストレージ データについて選択された地理的地域ごとのストレージの局所性の保証。

お客様は、以下について責任を負います：

- Object Storage powered by Google をアドオン機能として My VMware を介して購入すること。
- Object Storage powered by Google のサービス アカウントと p12 証明書を作成し管理すること。
- オブジェクト ストレージを使用するために各 vApp およびその仮想マシン メンバーとアクセスキーと証明書を共有すること。
- バケットとオブジェクトをオブジェクト ストレージに作成し、管理すること。
- オブジェクト ストレージ容量および消費の管理（アクティビティレポート、バケットとオブジェクトの作成と削除の管理を含みますがこれらに限定されません）。
- vCloud Air アカウントの解除時に、ユーザーによって作成されたバケットとオブジェクトに対する請求がなされないように、関連するバケットとオブジェクトを削除すること。
- 請求書発行から 60 日以内にすべての請求を提出すること。

3. vCloud Air SaaS サービス業務

vCloud Air Software-as-a-Service (SaaS) 提供は、VMware が運営や管理を行い、以下に記載されたサービスを提供します。以下では、各 vCloud Air SaaS サービス提供を実行する際の VMware の役割および責任を概説しています。また、特定の役割および責任はお客様が負うものとして識別されていますが、本書に記載されていない役割または責任は、サービス提供に伴って提供が行われていないか、またはお客様の責任であるという前提となっています。以下のサービス提供特有の記述と本サービス説明書の間に矛盾がある場合、記述されている特定のサービス提供と矛盾する限りにおいて、本第 3 条の記述が優先されます。

3.1 VMware vCloud® Air™ SQL

3.1.1 サービス提供の概要 vCloud Air SQL は「サービスとしてのクラウド データベース」提供であり、vCloud Air のオンデマンド サービスとして VMware が運営し、IT 組織に対して、VMware と互換性があるプラットフォームでサービスとしてのデータベースを実行し、クラウドでホスティングされたスケラブルなリレーショナルデータベースへの簡便なアクセスを提供するものです。このサービス提供では完全に管理された分離データベース インスタンスに対して、企業が事業の優先事項に注力できるような労力を削減する自動的管理機能を提供しています。使用に応じて支払を行うコストパフォーマンスに優れたモデルで提供され、信頼性豊かな vSphere を基盤として構築されている vCloud Air SQL は、クラウドにオンプレミスのデータベースをシームレスかつ安全に拡張するハイブリッドなデータ ソリュ

ーションをサポートします。vCloud Air SQL は現在 Microsoft SQL Server をサポートし、多様なメモリ、コンピューティング、ストレージ オプションをご利用いただけます。

3.1.2 Microsoft データベース ソフトウェア ライセンス

- vCloud Air SQL をご利用いただくには、VMware から Microsoft SQL Server のライセンスをご購入いただくか（「ライセンス込み」）または Microsoft のライセンス モビリティに従ってソフトウェア アシュアランス プログラムを通じてお客様の既存の Microsoft SQL Server ライセンスを使用していただく（「BYOL」）必要があります。以下の文書には、既存の Microsoft ライセンスを vCloud Air でご使用いただく方法についてのガイダンスや、該当する Microsoft のライセンス文書やウェブサイトのリンクが記載されています。
<http://www.vmware.com/files/pdf/vcloud-air/Bring-Your-Own-Microsoft-License-Whitepaper.pdf>
お客様においては、この手順をご理解いただき、Microsoft が指定しているライセンス条件を順守していただく必要があります。
- 既存の Microsoft SQL Server ライセンスの使用を選択し、Microsoft ライセンス モビリティ プログラムの条件を順守しなかった場合、あるいは vCloud Air SQL サービス提供の利用に必要な Microsoft SQL Server ライセンス権をお持ちでない場合は、標準的な vCloud Air SQL サービス提供料金（Microsoft SQL Server ライセンスを含む）が課されたり、サービス提供が解除されたりする場合がありますのでご注意ください。

3.1.3 前提条件

vCloud Air SQL は vCloud Air 傘下のサービス提供です。そのため、お客様に以下の前提条件を満たしていただく必要があります。

- 有効な vCloud Air アカウントを保持し、VMware との請求関係をお持ちであることが必要です。
- vCloud Air で既存の VDC（仮想データセンター）を保持していることが必要です。vCloud Air SQL における仮想データセンターとは、vCloud Air SQL データベース エンドポイントをマッピングできる vCloud Air の境界内のアドレス可能ネットワーク スペースであり、お客様がデータベースに接続できるようになっているものです。
- vCloud Air SQL のネットワーク アクセスを可能にするために、vCloud Air アセットに接続する方法を備えている必要があります。デフォルトでは、vCloud Air SQL は公共 IP アドレスにマッピングしないため、この作業を行うためには、お客様自身の vCloud Air SQL アセットに接続する必要があります。

3.1.4 サービスオプション

vCloud Air SQL は VMware が運営および管理し、以下の 2 つのサービスクラスを有します。

基本的なサービスとしてのデータベース

- **セルフサービス プロビジョニング**：ボタンをクリックするだけで、分離され完全に管理された Microsoft SQL Server データベースを迅速に作成することができます。お客様は、様々な SQL Server データベース バージョンやエディションを作成することができます。事前に定義されたコンピューティングおよびメモリ サイズの組み合わせのデータベースを作成するオプションが提供

され、高性能データベース ストレージの量も設定可能です。

- **サービス管理：**
 - **バックアップ：**本サービスは、設定可能な期間にわたり完全に自動化・統合されたデータベースバックアップ機能を提供し、保存期間中の任意のポイントのデータ状態を新規データベースに復旧する機能があります。
 - **スナップショット：**またオブジェクトストアに残っている、ある一定時のデータのスナップショットを取る機能も活用できます。なおこのデータは新規データベースに復旧することができます。スナップショットは、定期的な間隔で反復するようスケジュールを組んだり、オンデマンドで作成したりすることもできます。
 - **承認 / 権限：**本サービスでは、DB インスタンス、スナップショット、バックアップの種々のライフサイクル管理機能に、役割別にアクセスを設定することができます。サービス上の役割は、ポリシー・マネージャ、DBaaS 管理者、スナップショット管理者、インスタンス所有者および読み込み専用ユーザーに分かれています。お客様は、DBA、ディベロッパー、データベースユーザー、ポリシー管理者にこれらの役割に割り当て、オンプレミス RBAC を vCloud Air SQL で引き続き使用することができます。
 - **スケーラビリティ：**お客様の事業の拡張に伴いコンピューティング、メモリ、ストレージサイズを変更することで、インスタンスのサイズ変更を行うことができます。
 - **使用可能性：**vCloud Air SQL はデータベースを継続して監視し、ダウンタイムを最小限に抑えるためにハードウェアの障害後に自動的にインスタンスを復旧します。
 - **セキュリティ：**デフォルトでは、お客様のデータベースは vCloud Air のお客様の仮想データセンター（VDC）のみで可視になっています。お客様は、データベースを公共インターネットで提供することも、vCloud Air リソース内の特定の VDC のみで可視にするように制限することもできます。vCloud Air の高度なネットワーキング機能を利用してネットワーク上でのデータベースの可視性をコントロールすることができます。

3.1.5 サービスオブジェクト

以下は、vCloud Air SQL の様々なコンポーネントです。

- **データベース：**
 - アクセスコントロールとセキュリティを目的として、vCloud Air SQL でデータベースのプロビジョニングを行うためには、お客様は vCloud Air で仮想データセンター（VDC）を備えていることが必要です。VDC は、お客様に対するデータベースの可視性を制限するネットワーク アドレス スペースとしての役割を果たします。
 - vCloud Air SQL は、内部のサービス管理ネットワークのみでアクセスできる、VDC 内の分離された仮想マシンに各データベースを作成します。サービス管理ネットワークは vCloud Air SQL の内部にあり、vCloud Air SQL 仮想データセンターで実行されるすべての管理操作のバックボーンです。その後 vCloud Air SQL は各データベースを、お客様が選択された VDC にマッピングします。特定の顧客 VDC にアクセスできるユーザーのみが、そのデータベースにアクセスできます。その後アクセス ルールを設定することにより、ニーズに合わせてデータベースへのアクセスを追加したり、制限したりすることができます。
 - お客様は、バックアップ、スナップショット、パッチングなどの保守操作を設定することが可能であり、内部サービス管理ネットワークがそれらの操作を自動的に行いま

す。

- **データベースのスナップショットおよびバックアップ：**
 - すべてのバックアップとスナップショットは、ディザスタ リカバリの目的で vCloud Air SQL のコア インフラストラクチャから分離された vCloud Air SQL のオブジェクトストア サービスに保存されます。オブジェクトストア サービスのオブジェクトは、保存前に暗号化されます。
- **サービス管理のツール：**
 - vCloud Air SQL エンドポイントは、Tabular Data Stream (TDS) プロトコルを使用して Microsoft SQL Server に接続する標準サードパーティー ツールに対応しています。お客様はこれらのツールを利用して、標準的なディベロッパー レベルの機能およびそのデータベースの使用に関連する限られた管理レベルの機能を実行できます。

3.1.6 サービスポータルおよびユーザー インターフェイス

セルフサービスポータル vCloud Air SQL サービス提供は、vCloud Air コンソールを経由してアクセスできます。ユーザーは、このコンソールで vCloud Air SQL タイルをクリックすることで、vCloud Air SQL サービスポータルに進み、データベースのインスタンスの作成および管理を行うことができます。

ネットワーキング機能は、デフォルトの vCloud Air コンソールを使用して実行されます。

3.1.7 サービスプロビジョニング

お客様は、以下のライセンス モデルに準拠する Microsoft SQL Server ソフトウェア（Enterprise Edition または Standard Edition）が事前にインストールされ、事前にサイズが規定された（たとえば小型、中型、大型など）仮想マシンのプロビジョニングをリクエストすることができます。

- お客様がライセンスを持参 (BYOL)、または
- ライセンス込み

これらのライセンス モデルについては、上記の第 3.1.2 条に詳しく記載されています。仮想マシンは個々のお客様で分離されており、お客様はインスタンスで追加のデータベースを作成することができます。データベース インスタンスが実行されている仮想マシンにアクセスすることはできませんが、その代わりにお客様にはデータベースにアクセスするためのエンドポイントが提供されます。

お客様は、データベースのために必要なストレージの設定を行うことが可能であり、当社がお客様により多くの選択肢をご提供するに従い、ストレージ オプションは随時変更される場合があります。

これらのサービスは、vCloud Air SQL のために分離されている vCloud Air インフラストラクチャでプロビジョニングされます。ネットワーキングなどの追加のリソースのプロビジョニングが行われます。vCloud Air IaaS プロビジョニング要件に関する追加情報については、上記の第 2.1 条を参照してください。

3.1.8 データリカバリ vCloud Air IaaS 環境におけるデータリカバリについて、詳しくは上記の第 2.2 条を参照してください。

3.1.9 監視 vCloud Air SQL サービス提供は、内部監視ツールで完全に管理されています。お客

様が見ることができるモニタリングは、サードパーティー ツールおよびマネージド サービスの要件との互換性を維持するための限られた管理機能に制限されています。

3.1.10 インシデントおよび問題管理 上記の第 2.4 条を参照してください。

3.1.11 変更管理 上記の第 2.5 条を参照してください。

3.1.12 セキュリティ 上記の第 2.6 条を参照してください。

3.1.13 ストレージ vCloud Air SQL サービス提供には、vCloud Air SQL コア サブスクリプションの一部として高性能持続ブロック ストレージが含まれています。お客様は、データ層のサイズを指定することで、データベースの設定を行うことができます。データファイル、ログ、一時ファイルなどデータベースに必要なすべてのファイルは、このサイズ限度内で管理されます。データベースが設定されたストレージ限度に近づくと、お客様にアラートが発行されます。お客様は、随時データベース ストレージを増量することができます（該当する料金が課されます）。データベース ストレージのサイズを縮小することはできません。

3.1.14 移行 データベースは、サードパーティー データベース ツールを使用して vCloud Air SQL に移行できます。ただし、サービスはマネージドサービスであるため、お客様の特権的操作は無効になっています。

3.1.15 注文

vCloud Air オンデマンドのお客様は誰でも、vCloud Air SQL サービス提供にアクセスしてインスタンスを作成することができます。お客様は、vCloud Air コンソールを介してデータベース インスタンスを起動することができます。

3.1.16 停止

以下の第 4.4 条に記述されているように停止があった場合は、お客様は即時に vCloud Air SQL インスタンスへの管理アクセスおよびデータベース インスタンスへのアプリケーション アクセスができなくなります。VMware は問題が解決されるまで、またはサービス期間が満了するまで、またはサービスが解除になるまで、設定とデータ（プライマリおよびバックアップ データを含む）を保持します。

3.1.17 解除

解除時に、VMware はプライマリ データベース ストレージの最終のスナップショットを記録し、90 日間にわたり保存します。その後、VMware は最終スナップショットを破棄することができます。VMware は解除時に、最終スナップショット以外の、データベース インスタンスに関連する他のすべてのデータ（スナップショット、PITR バックアップを含む）を直ちに破棄することができます。

4. 事業活動

本項では VMware vCloud Air サービス提供の注文、スケーリング、更新、中断及び終了の各プロセスに

ついて要約します。

4.1 注文及び請求

専用クラウド、仮想プライベートクラウド、ディザスタ リカバリ注文

- 初注文には、コアのコンピュータ処理、サポート、ストレージ、IP アドレスおよびシングル サービス インスタンスのインターネット帯域幅コンポーネント（「サービス識別子」または SID）が含まれていますが、これらについては付録 A にさらに詳しく記載されています。初購入によりデフォルトの請求関係が定められ、契約期間中のその SID の全ての取引に適用されます。例えば、初注文が VMware 公認のリセラーを介して行われた場合、デフォルトでは、そのサービス識別子に関するその後の支払は当該リセラーを介して行われます。この請求関係は更新時に変更できます。
- 追加容量は、初注文時または初注文後いつでも購入できます。
- データ保護などの追加サービスは、初注文と共に、または My VMware ポータルを介してサブスクリプション期間中いつでも購入できます。当該追加サービスには追加の条件及び料金が適用されます。
- 容量に関しては、契約期間末までであればいつでも容量またはサービスの追加を注文することによりアカウントの変更ができます。SID に付随した VMware 公認リセラーを変更する場合には、以下のように更新時に VMware に連絡して行うことが可能です。
- サービスは、更新時に VMware との調整により縮小させることが可能で、その縮小後のサービス提供の容量に応じて新たに注文をすることが必要となります。ただし、お客様の縮小後のサービス提供の注文に付随する容量がお客様のその時点の作業に必要な容量に満たない場合、VMware は、お客様がその超過容量を解除し、VMware が再請求するまで、超過容量についてその時点のレートでお客様に請求します。

仮想プライベートクラウド オンデマンド注文

- 初期登録には、お客様が提供された支払手段が承認され次第、シングル サービス インスタンス（「サービス識別子」または SID）の設定が含まれます。登録することで、現在利用可能な全てのオンデマンド サービス コンポーネントを消費する資格が付与されますが、デフォルトでこれらのサービス コンポーネントのプロビジョニングは行われません。
- 初期登録後いつでも、初期ならびに追加容量をサービス内で割り当てることができます。
- オフラインデータ移転などの追加サービスは、My VMware ポータルを介して請求期間中いつでも購入できます。当該追加サービスには追加の条件および料金が適用されます。
- 容量に関しては、請求期間末までであればいつでも容量またはサービスの追加を注文することによりアカウントの変更ができます。
- サービスの縮小は、請求期間中いつでもサービス内で行うことができます。

SaaS オンデマンド注文

- 初期登録には、お客様が提供された支払手段が承認され次第、シングル サービス インスタンス（「サービス識別子」または SID）の設定が含まれます。登録することによって、現在利用可能なすべてのオンデマンド サービス コンポーネントを消費する資格が付与されますが、デフォルトでこれらのサービス コンポーネントのプロビジョニングは行われません。
- 初期登録後いつでも、初期ならびに追加容量をサービス内で割り当てることができます。

- オフラインデータ移転などの追加サービスは、My VMware ポータルを介して請求期間中いつでも購入できます。当該追加サービスには追加の条件および料金が適用されます。
- 容量に関しては、請求期間末までであればいつでも容量またはサービスの追加を注文することによりアカウントの変更ができます。
- サービスの縮小は、請求期間中いつでもサービス内で行うことができます。

専用クラウド、仮想プライベートクラウド、ディザスタ リカバリ請求

- お客様が直接 VMware からサービス提供を購入される場合、VMware は、各請求期間が始まってから 30 営業日以内に注文された全サービスについて請求します。お客様が VMware 公認 リセラーを介してサービス提供を購入される場合、リセラーは、お客様とそのリセラーの間で交わした相互合意に基づき、お客様に請求します。
- プラン料金は、付録 A に定められているように、その時点の請求期間に応じて VMware により請求されます。ただし、お客様が前払サービス提供の SKU を選ばれた場合は例外とし、注文されたサブスクリプション期間について請求されます。サービス提供が請求期間全体について提供されない場合、当該期間の料金は、(a) サービス提供が最初に提供された日から請求期間末まで、または (b) 請求期間の開始から請求期間内のサービス提供の最終日まで、それぞれに応じて比例配分されます。
- 利用料金は、付録 A に定められているように、利用された請求期間後の次の請求日に VMware により請求されます。お客様の SID が請求日の 5 日以内に設定された場合、お客様は、利用料金の最初の請求書を SID 設定後の第 2 請求日まで受け取らないこととなります。

仮想プライベートクラウド オンデマンド請求および SaaS サービス提供

- VMware は、各請求期間開始後 30 営業日以内に消費された全サービスについて請求を行います。メーター制使用で発生した使用料金の請求時に、お客様のクレジットカードに請求されます。

4.2 メーター制の使用

- 専用クラウド、仮想プライベートクラウド、ディザスタ リカバリの帯域幅やサードパーティライセンスなどのメーター制使用コンポーネントは、サービス期間中を通じていつもサブスクリプションレベルを超過して消費することができます。お客様は、そのメーター制使用のコンポーネントに対して、サービス提供を直接 VMware から購入した場合、VMware が公表するその時点のレートで支払うか、またはサービス提供を VMware 公認リセラーを介して購入した場合、そのリセラーと合意したレートで支払わなくてはなりません。この料金は、VMware により利用料金として請求されます。メーター制使用コンポーネントのリストは付録 A に提供されています。
- 専用クラウド と仮想プライベートクラウドについては上記のアドオン能力及びサービスは、新規あるいは拡張された要求に合わせていつでも購入できます。
 - アドオン機能は、My VMware ポータルを介してか注文を通じて追加することができます。
 - アドオン機能またはサービスの期間は、SID のコアサブスクリプション期間と同じ時期に終了するように設定されます。
 - アドオン機能がお客様にさらに容量の階層を上げさせる場合、SID の残りの期間にユニットごとの価格引下げが月次請求に対して適用されます。前払サブスクリプションの場合、容量の階層が上がることによるユニットごとの価格引下げの払戻しはありません。

せん。ユニットごとの価格引下げは、容量の階層が上がった後で追加された月次及び前払サブスクリプションの双方に適用されます。

- ディザスタ リカバリのメーター制使用並びにアドオン機能及びサービスに対する除外には以下が含まれます。
 - ワンタイム コンピュータ処理能力（30日）は、最初のサブスクリプション申込時に指定したフェイルオーバー容量の本来の総量を超える短期フェイルオーバー容量の要求を満たす目的で購入することができます。
 - ワンタイム コンピュータ処理能力アドオン（30日）を購入し、基本のコアサブスクリプションの有効期限がコンピュータ処理アドオンの30日の期間末までに切れた場合、コンピュータ処理アドオンは、コアサブスクリプションが更新されない限り、コアサブスクリプションの終了と同時にその有効期限は終了します。
 - ワンタイム コンピュータ処理能力は、サブスクリプション期間を通してライブ フェイルオーバー及びリカバリ操作を支える必要があるときに購入することができます。
 - ワンタイム コンピュータ処理能力の使用資格は、30日の有効期限が終了するまで有効で存続し、コア能力に付随するランタイム リースとは無関係です。コア能力は、実際のテスト フェイルオーバーまたはライブ フェイルオーバー及びリカバリ現象時に適用されます。
- 全ての仮想プライベート クラウド オンデマンドおよび SaaS コンポーネントはメーター制使用とみなします。

4.3 更新

専用クラウド、仮想プライベートクラウド、ディザスタ リカバリ

VMwareは、サブスクリプション期間終了に際し、SIDを更新しない権利を留保します。VMwareが更新しない場合、当社は、お客様にサブスクリプション期限の終了の30日前に通知します。各SIDの更新オプションは、My VMwareの管理ポータルを使用して選択できます。更新オプションには以下のものが含まれます。

自動更新（デフォルト設定）

本第4.3条の規定を除き、各SIDは、現在の構成及び現行のサブスクリプション発注期間を使用して自動的に更新します。その時点のSKU及び価格は、適用価格表に基づいて、その更新期間に適用されます。お客様は、<http://my.vmware.com> のMy VMwareのポータル内でSIDの更新方法の設定を「修正する」あるいは「取消す」へ変更することにより自動更新を中止することができます。「修正する」あるいは「取消す」オプションの詳細については下記の項目をご覧ください。

期間末にサブスクリプション サービスの変更 お客様が更新方法設定を「修正する」に選択すると、お客様は、SIDサブスクリプション期間が終わる前に通知を受け、お客様の更新オプションについて協議します。更新方法設定として「修正する」を選択することで、お客様は、更新サブスクリプション期間について新たな発注書を発行することにより、サービス提供の構成を変更したり、また該当する場合、お客様のリセラー関係を変更したりすることもできます。お客様が下記に記載する該当する最終期日までに現在のSIDを変更しない場合、または新規サービス提供の発注書を新たにVMwareまたは（該当する場合）お客様のVMware 公認リセラーに発行しない場合、あるいはその両方の場合、お客様の現行のSIDは現在の構成のままで、VMwareまたはお客様の既存のリセラーと自動更新を行います。お客様がサービス提供をVMware 公認リセラーを通じて購入した場合、手動による更新が、お客様がその特定の

SIDのリセラー関係を選べる唯一の方法となります。手動により更新を管理するための最終期日に関しては、下記の表をご覧ください。

サブスクリプション期間	修正された更新注文を提出する最終期日
3か月以内	My VMwareのポータル内の更新方法を「修正する」に設定すること、およびVMwareがお客様の修正済みの構成の発注書を、期間最終日から5日前までに受領することが必要です。お客様や公認リセラーは、この最終期日に間に合うようにプロセスの時間に余裕をもつようしてください。
3か月超	My VMwareのポータル内の更新方法を「修正する」に設定すること、およびVMwareがお客様の修正済みの構成の発注書を、期間の最終日から30日前までに受領することが必要です。お客様や公認リセラーは、この最終期日に間に合うようにプロセスの時間に余裕をもつようしてください。

期間満了におけるサブスクリプションサービスの取消

お客様は、My VMwareのポータル内（<http://my.vmware.com>）でSIDの設定を「取消す」に変更することで、現行のSID更新を取消することができます。このオプションが設定されると、お客様のサービス提供へのアクセスはSIDサブスクリプション期間満了時に終了します。My VMwareのポータルを介して取消オプションを選択するための最終期日に関しては、下記の表をご覧ください。

サブスクリプション期間	My VMwareを介して取消オプションを選択するための最終期日
3か月以内	現在のSIDサブスクリプション期間の最終日から5日前
3か月超	現在のSIDサブスクリプション期間の最終日から30日前

仮想プライベートクラウドオンデマンドおよびSaaSサービス提供

VMwareはその請求期間終了日においてSIDを更新しない権利を留保します。VMwareが更新しない場合、当社はお客様に、請求期間の終了日前に通知します。各SIDの更新オプションは、My VMwareの管理ポータルを使用して選択できます。更新オプションには以下のものが含まれます。

自動更新（デフォルト設定）

本第4.3条の規定を除き、各SIDは、現在の構成を使用して自動的に30日間更新します。適用価格表に基づいて、その時点の価格がその更新期間に適用されます。お客様は、<http://my.vmware.com> のMy VMwareポータル内で次の請求期間前にサービスを取消することにより自動更新を中止することができます。

取消

お客様は、<http://my.vmware.com> のMy VMwareポータル内でサービスを取消することにより、次の請求期間前であればいつでも現在のSIDを終了することができます。このオプションを選択された場合、お客様の本サービス提供へのアクセスは直ちに終了します。

4.4 停止及び再使用可能性

- 支払遅延またはサービス条件に定めるその他の理由により SID が VMware によって停止されている間、VMware はすべての SID へのアクセスを制限し、SID のパブリック IP アドレス上のす

すべてのトラフィックを遮断します。VMware は、問題が解決されるまで、またはサービスが終了するか解除されるまで、SID を構成およびデータをそのままにして保持します。

- **SID の再使用可能性**は、停止に及んだアカウントの問題が解決次第直ちに開始され、サービス提供へのアクセス及び IP アドレス上のトラフィックが復旧されます。

4.5 契約解除

- 契約の期間満了、解除、取消またはその他の理由による SID の**完全な終了**により、結果として当該環境へのアクセスの永久喪失、アカウント サービスの中断並びに VMware 社内のデータ保存方針に従った当該環境、構成及びデータの削除が行われます。
- 終了した SID からの**データ**は、VMware が当該 SID の契約終了後 90 日間にわたり保持します。VMware は、この 90 日の期間が経過すると当該データを削除します。
- 契約の期間満了、解除、取消またはその他の理由によりテスト前やフェイルオーバー ランタイム リースが完全に満了となる前に終了したディザスタ リカバリ SID に関しては、サブスクリプションの終了により、テストまたはフェイルオーバー操作の残余のランタイム リースは即座に喪失します。

4.6 契約の中途解除（専用クラウド、仮想プライベートクラウド、ディザスタ リカバリのみ）

- vCloud Air の当初期間が 12 か月以上の月次払いのサブスクリプションは、中途解除の対象となります。前払サブスクリプションは対象とはなりません。アドオンは、月次払いの基本サブスクリプションが終了する場合のみ対象となります。その終了は、サブスクリプション期間の最初の 3 か月が過ぎ、VMware に事前の通知をしてからのみ有効となります。お客様は、有効な終了日現在の残余サブスクリプション期間について、12 か月の期間ごと（またはその一部）にサブスクリプション料金の 1 か月に相当する料金（アドオン料金も含む）を支払わなければなりません。例：

有効な終了日現在、残余サブスクリプション期間（月）	中途解除手数料総額
12か月未満	契約サブスクリプション料金の1か月に相当する料金（アドオン料金も含む）
12か月から24か月未満	契約サブスクリプション料金の2か月に相当する料金（アドオン料金も含む）
24か月から36か月未満	契約サブスクリプション料金の3か月に相当する料金（アドオン料金も含む）

- お客様が終了を希望する SID に必要な通知をする場合、My VMware ポータル (<http://my.vmware.com>) のサポートリクエストに記入し、VMware Global Support and Services チームに連絡してください。
- お客様は 30 日から 60 日前に事前通知をしなければなりません。終了（お客様の SID の最終有効日）は、お客様の次回サブスクリプション請求期間の最終日に有効となります。
 - 例えば、お客様のサブスクリプション請求期間が毎月 15 日に終了する場合（お客様の請求日と違う可能性もありますので、ご注意ください）、5 月 15 日まで有効の SID を終了するためのお客様の当社への通知は 4 月 15 日までとなり、4 月 16 日に通知されると、SID は 6 月 15 日に終了されます。

注意:ディザスタ リカバリの月次払いのサブスクリプションは、上記の契約の中途解除オプションの

対象です。中途解除に関連する料金は、**以下の場合**、放棄されます。

- (1) お客様がディザスタ リカバリ サービス サブスクリプションを終了する場合、同請求期間にお客様がサービスの種類をディザスタ リカバリから専用クラウドまたは仮想プライベートクラウドのいずれかにアップグレードする場合、及び、(2) お客様の本来のディザスタ リカバリのサブスクリプション期間と同等またはそれ以上のサブスクリプション期間に、専用クラウドまたは仮想プライベートクラウドのいずれかのサービス サブスクリプションも新規に購入する場合。

付録 A — 注文及びメーター制使用のコンポーネント

本サービス説明書の本付録 A では、当初またはその後の注文を通じて顧客が購入する可能性のあるコンポーネント及び利用実態に基づいて請求されるコンポーネントについて要約します。

定義:

「帯域幅」とは、VMware のインターネット サービス プロバイダを使用し、お客様の vCloud Air から公共のインターネットをつなぐネットワーク接続性をいいます。

「請求日」とは、VMware が当該サービス提供について定期的に請求する日をいいます。請求日は、別途の表示がなければ、月次に発生します。

「請求期間」とは、サービス提供が請求されている期間をいいます。請求期間は、別途の指示がなければ、月次でお客様の SID のサービスの提供方法に関連します。

「バースト帯域幅」とは、お客様の専用クラウド、仮想プライベートクラウド、ディザスタ リカバリ SID 向けコア コンポーネントで購入した帯域幅を超えてお客様が消耗した帯域幅の総量をいいます。

「コンピュータ処理」とは、お客様の購入された専用クラウド、仮想プライベートクラウド、ディザスタ リカバリ SID 向けサービスの種類を通じて割当てが実現された仮想過程及び仮想メモリ リソースをいいます。コンピュータ処理は、以下に定義するように、増量しながら注文されます。

「コア コンポーネント」とは、専用クラウド、仮想プライベートクラウド、ディザスタ リカバリ SID 向けコンピュータ処理、ストレージ、帯域幅、IP アドレス及びサポートをいいます。

「データベース サイズ」とは、CPU および RAM の割り当てに基づいた、プロビジョニングされた vCloud Air SQL データベース インスタンスのサイズをいいます。

「データベース ストレージ」とは、データファイル、ログファイル、一時ファイルスペースを含めたプライマリ vCloud Air SQL データベース ストレージをいいます。

「弾性コンピュータ処理」とは、お客様が請求期間中に利用した、専用クラウド、仮想プライベートクラウド、ディザスタ リカバリ SID 向けに確保されていない仮想過程及び仮想メモリ リソースをいいます。

「IP アドレス」は、公共のインターネットに接続性を供給するために用いられ、帯域幅は、お客様が購入されたサービス提供でデータが転送されたり、受領されたりする場合に消耗されます。

「メーター制使用のコンポーネント」とは、契約したプラン料金を超える使用量を含め、利用実態に基づいて請求されるサービス提供の要素です。メーター制使用のコンポーネントは以下に記載されています。

「オフライン データ トランスファー（「ODT」）とはデータ移行サービスを意味し、このサービスでは、物理的ストレージ装置をお客様に発送し、多数の VM、vApps または テンプレートを、お客様のローカル VMware vSphere または VMware vCloud Director 環境からお客様の vCloud Air IaaS Cloud 環境に移行する目的で、後程 VMware に返送していただきます。

「プラン料金」とは、使用量に基づいて請求されない（つまり、お客様が購入を約束し、使用の如何にかかわらず、サブスクリプション期間中繰り返されるコンポーネント）、それらのサービス提供のコンポーネントです。この料金は本サービス説明書の第 4.1 条の定めに従い、その時点の請求期間について請求されます。

「リカバリ ストレージ」とは、データベース スナップショットおよび PITR（ポイント イン タイム リカバリ）バックアップの vCloud Air SQL ストレージをいいます。

「ストレージ」とは、お客様の購入のサービスの種類によってお客様の使用可能となるブロック レベル ストレージを意味します。ストレージは、以下に定義するように増量しながら注文されるか、サービスにおいて割り当てられます。

「サブスクリプション ソフトウェア」とは、お客様に提供され、その使用について請求されるすべてのソフトウェアをいいます。

「サポート」とは、本サービス説明書の第 2.2 条及び第 2.7 条の定めに従い、VMware が届けるサービスをいいます。

「サードパーティー ライセンス」とは、サードパーティー ソフトウェアのライセンスを意味し、それらのライセンスは、サービス オプション（いずれもサービス カタログ他を介して）としてお客様に利用可能なものです。

「UOM」とは、請求に使用される使用量測定単位をいいます。

「使用料金」とは、使用量に基づいて請求されるサービス提供のコンポーネントのサービス料金をいいます。この料金は、本サービス説明書の第 4.1 条の定めに従い、後払いで請求されます。

「フェイルオーバー テスト」とは、ディザスタ リカバリ サービスの一環としてフェイルオーバー及びリカバリの模擬訓練を実行する行為をいい、テスト ワークフローに 1 つ以上の仮想 マシンが含まれる場合はいつも適用されます。

「1 日当たりの使用料金」とは、ディザスタ リカバリ サービスに基づいて、許可されたランタイム リースよりも長い期間フェイルオーバーし、リカバリされた仮想マシンを操作するに付随する臨時費用をいいます。

「ランタイム リース」とは、ディザスタ リカバリ サービスの一環として、仮想マシンの操作可能期間に適用される時間総数（日数で計られる）をいいます。

vCloud Air IaaS サブスクリプションコア コンポーネントの注文

専用クラウド、仮想プライベートクラウド、ディザスタ リカバリのサブスクリプション コア コンポーネントは、特定のサブスクリプション期間（例、12、24、または 36 か月の期間）に対して注文を受け付けます。コンポーネントごとに請求され、月単位に支払われますが、前払サービス提供を注文される場合、一括払の請求および支払となります。

専用クラウド

専用クラウド インスタンスでは、SID インスタンスの最初の注文ごとに、下記コンポーネントにより構成される専用クラウド コアを含めなければなりません。

- コンピュータ処理: 30Ghz vCPU 及び 120GB of vRAM
- ストレージ: 6TB
 - 標準ストレージまたは SSD 加速のストレージ
- 帯域幅: 50Mbps
- IP アドレス: 3 パブリック IP アドレス
- サポート: 年中無休のプロダクション サポート

アドオン能力は SID の能力全体を増加させるために利用することが可能で、下記すべてを增量しながら注文する必要があります。

- コンピュータ処理: 30Ghz vCPU 及び 120GB の vRAM (コンピュータ処理アドオンの購入ごとにサポートが必要になります。下記 5 をご参照ください)
- ストレージ: 6TB
 - 標準ストレージまたは SSD 加速のストレージ
- 帯域幅: 50Mbps
- IP アドレス: 1 パブリック IP アドレス
- サポート: 年中無休のプロダクション サポート

上記の能力容量は全ての地域において利用できるわけではなく、こういった場合には、各地域において利用可能な能力の增量に合わせて上記品目を注文しなければなりません。

仮想プライベート クラウド

仮想プライベート クラウド インスタンスでは、SID インスタンスの最初の注文ごとに、下記コンポーネントにより構成される仮想プライベート クラウド コアを含めなければなりません。

- コンピュータ処理: 10Ghz vCPU 及び 20GB of vRAM
- ストレージ: 2TB
 - 標準ストレージまたは SSD 加速ストレージ
- 帯域幅: 10Mbps
- IP アドレス: 2 パブリック IP アドレス
- サポート: 年中無休のプロダクション サポート

アドオン能力は SID の能力全体を増加させるために利用することが可能で、下記すべてを增量しながら注文する必要があります。

- コンピュータ処理: 10Ghz vCPU 及び 20GB の vRAM (コンピュータ処理アドオンの購入ごとにサポートが必要になります。下記 5 をご参照ください)
- ストレージ: 2TB
 - 標準ストレージまたは SSD 加速ストレージ
- 帯域幅: 10Mbp
- IP アドレス: 1 パブリック IP アドレス
- サポート: 年中無休のプロダクション サポート

上記の能力容量は全ての地域において利用できるわけではなく、こういった場合には、各地域において利用可能な能力の增量に合わせて上記品目を注文しなければなりません。

ディザスタ リカバリ

ディザスタ リカバリ-VDC では、VDC インスタンスの最初の注文ごとに、下記コンポーネントにより構成

成されるディザスタ リカバリ コア を含めなければなりません。

- コンピュータ処理: 10Ghz vCPU 及び 20GB of vRAM
- ストレージ: 1TB
- 帯域幅: 10Mbps
- IP アドレス: 2 パブリック IP アドレス
- サポート: 年中無休のプロダクション サポート

アドオン能力は VDC インスタンス能力全体を増加させるために利用することが可能で、下記すべてを增量しながら注文する必要があります。

- コンピュータ処理: 10Ghz vCPU 及び 20GB of vRAM
- ストレージ: 1TB 標準ストレージ (ストレージ アドオンの購入ごとにサポートが必要になります。下記 5 をご参照ください)
- 帯域幅: 10Mbps
- IP アドレス: 1 パブリック IP アドレス
- サポート: 年中無休のプロダクション サポート

上記の能力容量は全ての地域において利用できるわけではなく、こういった場合、各地域において利用可能な能力の增量に合わせて上記品目を注文しなければなりません。

メーター制使用のコンポーネント

これらのコンポーネントの消費量は、以下に述べる UOM および增量で計測されます。これらのコンポーネントには使用料金が適用され、本サービス説明書の第 4 条の定めに従い、VMware より請求されません。

これらのコンポーネントの価格は、お客様の注文経路に応じて異なります。以下の「手数料及び料金」をご覧ください。

IaaS サービス提供 :

専用クラウド、仮想プライベートクラウド、ディザスタ リカバリ

- バースト帯域幅
 - 消費間隔: 請求期間
 - 增量: 1Mbps ごと
- サードパーティーライセンス
 - Microsoft SPLA Subscription Software
 - 消費間隔: 暦月またはその一部
 - 增量: CPU ごと
- データ保護ストレージ容量
 - 消費間隔: 請求期間
 - 增量: 保護データのフロントエンド テラバイト (FETB) ごと
- ディザスタ リカバリのコンピュータ処理能力の 1 日当たりの使用料金
 - 消費間隔: 暦月またはその一部
 - 增量: 確保された CPU 及びメモリ容量がオンライン上にあり、割当てのランタイム リ

ース期間にわたり使用されている日数ごと

- ディザスタ リカバリのためのフェイルオーバー テスト クレジット
 - 消費間隔: 12 か月の期間（月次請求日を各請求期間の開始として計算）
 - 増量: フェイルオーバー テストを行うごと
 - 制限: フェイルオーバー テストの追加クレジットは、コア ディザスタ リカバリのサブスクリプションと同じ 12 か月の期間内に使用されなくてはなりません。12 か月後はディザスタ リカバリ SID に関連するすべてのテストは、（サブスクリプション期間の長さに応じて）満了となります／リセットされます。

仮想プライベートクラウドオンデマンド

- vCPU
 - 消費間隔: 分/請求期間
 - 増量: GHz
- vRAM
 - 消費間隔: 分/請求期間
 - 増量: GB
- 標準ストレージ
 - 消費間隔: 分/請求期間
 - 増量: GB 月
- SSD 加速ストレージ
 - 消費期間: 分/請求期間
 - 増量: GB 月
- 帯域幅
 - 消費間隔: 請求期間
 - 増量: MB
- パブリック IP アドレス
 - 消費期間: 分/請求期間
 - 増量: パブリック IP アドレスごと
- サードパーティーライセンス
 - Microsoft SPLA サブスクリプション ソフトウェア
 - 消費間隔: 分/請求期間
 - 増量: CPU ごと
- サポート
 - オンラインサポート
 - 消費間隔: 請求期間

- 増量: 合計請求額の%

Object Storage powered by Google Cloud Platform

- ストレージ容量:
 - 消費間隔: 秒毎による請求; ビリングデータは毎日新しくなる
 - 単位: GB 月
- Nearline Storage 読み込み: Nearline Storage として保存されたデータを読み込みチャージされる
 - 消費間隔: 秒毎による請求; ビリングデータは毎日新しくなる
 - 単位: GB 読み込み
- Nearline Early 削除: 30 日前に Nearline Storage として保存されたデータを削除してチャージされる
 - 消費間隔: 秒毎による請求; ビリングデータは毎日新しくなる
 - 単位: GB
- 出口: vCloud Air Object Storage powered by Google Cloud Platform からインターネットに対してアウトバンド送信されるデータ移転
 - 消費間隔: 秒毎による請求; ビリングデータは毎日新しくなる
 - 単位: GB
- 地域内出口と入口: vCloud Air Object Storage powered by Google Cloud Platform において NA, EU および APAC 地域内においてのデータ移転
 - 消費間隔: 秒毎による請求; ビリングデータは毎日新しくなる
 - 単位: GB
- Class A 運用: 以下に記載のインバウンドおよびアウトバン特別取引:
<https://cloud.google.com/pricing/cloud-storage>
 - 消費間隔: 秒毎による請求; ビリングデータは毎日新しくなる
 - 単位: 1,000 運用
- Class B 運用: 以下に記載のインバウンドおよびアウトバン特別取引:
<https://cloud.google.com/pricing/cloud-storage>
 - 消費間隔: 秒毎による請求; ビリングデータは毎日新しくなる
 - 単位: 10,000 運用

SaaS サービス提供 :

vCloud Air SQL

- データベース インスタンス時間
 - 消費 UOM: 時間

- 増量: 時間
- 価格設定はデータベースのサイズおよび SQL ライセンス込みか BYOL かによって決まります。
- データベース ストレージ
 - 消費 UOM: GB 月/請求期間
 - 増量: GB 月
- リカバリストレージ
 - 消費 UOM: GB 月/請求期間
 - 増量: 0.000001 GB 月

ワンタイムコンポーネント

以下に記載のワンタイムコンポーネントを注文することができます。これらのコンポーネントは、それぞれが本サービス説明書にさらに詳しく記載されています。

- オフライン データ トランスファー: 11TB までの単一の物理的データ移行

これらのコンポーネントの価格は、お客様の注文経路に応じて異なります。以下の「手数料及び料金」をご覧ください。

手数料及び料金

お客様が直接 VMware に注文される場合、VMware は、その時点に適用される VMware の価格リストに記載の料金、または発注書に記載の別途料金を、VMware との合意に基づいてお客様に請求します。お客様が VMware 公認リセラーに注文する場合、当該リセラーが、その価格リストまたは別途のお客様との合意に基づいて請求します。

現在の SID にサービスまたは容量を追加する注文は、その SID が予約された方法に基づいて VMware またはリセラーから発注され、SID サブスクリプション期間の終了まで、共通の条件に従います。特に、リセラーが既にお客様に SID について請求をしている場合、かかる追加のサービスまたは容量についてはそのリセラーを通じて発注され、お客様が支払を同意した価格および他の当該条件は、そのリセラーとの合意に基づきます。